



刊夕日十月七

發行兼編輯人 川崎文治

本社下町南地(電話六三〇番) 印刷所 家警毎日印刷所

定価 一月五圓 半年三十圓 一年六十圓 外埠加郵費 廣告 第一版 五圓 第二版 四圓 第三版 三圓 第四版 二圓 第五版 一圓 印刷 日刊 一圓 週刊 五圓 月刊 十圓 半年 三十圓 一年 六十圓

**腸胃** 科 内 二 專  
科 腸 指 二 專  
科 虫 腸 指 二 專  
院 病 村 松  
部 科 内

**梅毒** 淋 病 婦 人 淋 病 婦 人 淋 病  
院 病 村 松  
部 科 外

平町紺屋町(縣社通り)  
美味 **イワキ食堂**  
評判 ぱやくしるまろ  
オの部電話四六〇番

七月九日替り  
特別四大映畫公開  
一人氣の第一人者たる  
市川百々之助必死の主演  
連続時代劇一武神朝聖  
**塚原小太郎** 全篇  
涙の名優松本泰助、可憐の  
小女杉村千恵子共演  
現代大悲剧 運命悲曲

愛の富士全七巻  
琵琶大原錦陵氏出演  
猛優大谷友三郎、凄麗泉春  
子主演  
時代幕末 勤王史劇  
**池田屋騷動** 全篇  
連続大活劇

**強力エルモ**  
第十三篇、十四篇  
帝キネ 有聲座  
直營 有聲座  
正確 體操計 關内藥局  
電四〇番

○雨近キ入梅期ニ  
オ子サンカノ  
通學ニ便利デ  
經濟デ然モ堅牢ナ  
**防水マント**  
尺八寸 二五〇〇  
二尺四寸 二七〇〇  
二尺六寸 三〇〇〇  
三〇〇〇  
女學生用モ有リマス  
**に鶴屋商店**  
電話百四十番

内科 小兒科 花柳病科  
(需應院入) 平町紺屋町  
**藤沼醫院**  
電話五七〇番

**開業**  
カフエーヒロキ  
本月拾日より乃木バー跡へ開店  
致します開店當日より**向七日間洋食**  
一品に付き**五錢割引**致します是非御  
試食の上御批評願います (店主敬白)

**美術表具**  
玉成堂  
平町田町  
元平陽女學校跡  
電話三〇七番

**看護婦派出所**  
の求めに應ず  
平町南町  
電話三〇七番

健康への光路 健康は御家庭唯一の寶です  
泣く子に乳と  
小兒靈藥 **消食散!!** 家傳高貴  
ハシサキの **消食散** 藥劑配合  
御小供様の病氣一切に妙効有  
福島縣相馬郡金房村飯崎  
家傳靈藥 **ハシサキの消食散**  
調劑 本舖 平町四丁目  
取次販賣所 **勇屋はき物店**  
電話三三七番

適應症主治  
小兒疳、胃腸加  
管兒、下痢入工  
營養兒の消化不  
良、食進み其他  
一般腸疾患に妙  
効を奏す

涼しい飲み物の天下  
生ビール 十五錢  
アイスクリーム 十錢  
其他ソーダ水や冷コーヒ、冷コーヒ茶等冷たい飲み物の  
用意が種々整へました  
出前は迅速可憐です  
**カフエー松ヶ岡**  
電話呼出 二二三番  
六五二番

**外科専門**  
入院應需  
**上田外科醫院**  
平町南町  
電話一二九番

自乗用車 轉音福  
購入の便法あり  
エグゼクティブ 號 乗心持 絶好  
キヤビネット  
日掛けや月掛等の方法に依り望みに  
依つては現品を前渡し致します  
平町盛地小路  
自轉車及 **鹽野平支店**  
附屬品店 本店 東京市神田區末廣町一〇

**看護婦派出所**  
の求めに應ず  
平町南町  
電話三〇七番

ちふすの話(七)  
ちふす菌の通り  
便所の中ちふす菌は長く  
捨てて置けば自然に消滅す  
るが、まだ死にきらぬ内に  
汲み出して畑へまくとか下  
水に流し込むと、かすと、  
やや暫らく生命を保つて、  
畑へ行つたものは野菜と共に  
台所へ戻ると、下水へ行  
つた者は牡蠣などに附着し  
同じく厨房を訪れる、日本  
の便所の内容は専ら田畑へ  
運ばれるから従て野菜から  
来るちふすが多いが、西洋  
の都會では大小便は全部下  
水に流し込まれ結局海へ放

流されるので、下水中に浮  
んだ細かな糞塊と共にちふ  
す菌が海岸に繁殖された牡  
蠣の腹中に入り、暫らく生  
存して居る、此牡蠣を主と  
して生食するので、之がた  
めにもちふすが發生する、日  
本では此牡蠣を産する土地  
では往々此危險がある。  
西洋の都會のやうに下水道  
が出来ても其淨化作用が充  
分でないればちふす菌は海  
より逆に陸上を襲ふのであ  
る、日本の都會に於て假り  
に下水工事を完成して海か  
ら来るちふすに備へたとし  
ても、背面の畑から来るち  
ふすは容易に防ぎ事は出来  
ない、西洋では下水の淨化

患者 便所 畑  
野菜 台所 口  
と云ふ事になる、野菜から  
来る場合は都會の人も農村  
の人も同等に危険である  
(つづく)



# 水道の増水契約實現し 利権屋の面々顔色無し

### 先の萬八宣傳は一蹴されて 増水案満場一致可決

大瀧問題に關する利権屋の一味と目される某町議は「中町は將來人口が増加して水道の給水を増さねばならぬ」と主張したが、龍江筋より引水の増量大爲さんごとも好間村は如何なる條件に依るも断じて是れに承諾を與ひない等である。

等と豫言者のきた事を町會の席上に於て呼號し、徒らに町民に不安と疑惑を抱かしため、たゞそれは唯單なる人心惑亂の爲めにする萬八宣傳であらう事が今日の町會に於いて明らかになつた。即ち本日午前十時からの町會に於ては大瀧江筋組合と中町とが締結した契約書を變更し、從來の取水量一個三分の倍量二個六分の水を中町が取水し得る事になる新契約書案を附議したのである。新契約書の一部抜萃は左の通り。

第一項 福島縣石城郡中町に於ては水道を敷設する爲め好間川より一秒時間二立方尺六分の水量を引用すること、好間村並に好間堰普通水利組合代表者は本契約書各項に依り承認するものとす。

第二項 町は好間村灌漑用水各堰則ち好間堰普通水利組合費人堰費、野原堰費、入堰費、寺人堰費、山ノ神堰費、内ノ草堰費、中川原ノ小谷作江費、牛田費、谷川ノ中子費、補償として毎年金五百圓を其年十二月二十日を期日とし、

とはすどの小氣味好きが傍聴者の胸を流れた。

### 仁王門慶賀式 既記

石城郡赤井村岡御井嶽の仁王門落成慶賀式は来る廿四日の雨日執行するべきに依り、住職其他準備に忙殺されつゝある由。

## 兵卒が慘死 演習中の珍事

#### さんごう崩壊

仙台第二師團工兵第二大隊第二中隊二等卒石城郡大野村字宮下草野太一(三)は八日午後六時より九日午前十時にいたる間追廻練兵場に於て演習中、塹壕内の土砂高さ一メートル、幅五メートルが崩壊し、同人外五名埋没したので演習を中止し、全員が掘出しに努めたが、同人外一名は慘死し、其他四名も瀕死の重傷を負ふた。

## 赤井村にて

### 龜裂を生ず

#### 水出に

石城郡赤井村大字赤井は去月廿二日朝平刑務所を脱獄した郡山市宇屋敷裏前科五犯山口鷲三郎の行方についてはその後本縣警察部で縣下は勿論全國に手配し引續き警戒の手をゆるめなかつたが去る六日夜河沼郡坂下町に突然現れ、吳服商齋藤安吉方外三ヶ所に忍び入り、衣類其他數點を窃取した。また、もや姿を晦したが、其指紋に



伊勢エビシチユウ

いせえびを噛んでにしてから皮をむき五分角に心切り馬蹄しよは皮をむき七分角

## 好況來を期待する 炭價の高値持續

### 夏季の上向きは珍現象

#### 一部當業者の觀測

炭界を唯一の財源となしつつある石城郡地方財界は例年夏季に於ける炭界の生産過剰と需要減退のために、茲夏期中は一般不況期とされてゐたが

### 本年も 既に需要薄

の期に入り、あるに拘らず炭相場は案外値下も見ざるのみか、上半期相場に比し僅の遜色を見ず、従前の高値を持續し、あるに比し、某炭界消息通は「今期四ヶ月間

の即ち夏期を通じ需要減退を觀すに過ぎざること、出來れば本年末には一大好況時を招來するであらうと、又、値下げを見る様なきと、好況であることが豫想される。云々と語つてゐるが、例年の如き需要薄の夏季に於ける炭界は依然値上を持續し、あるに比し、某炭界に於て財界に多大なる影響を

## 各方面

及ぼさつゝ、本郡内に二分であるのみならず、今冬期から來春に亘る石炭の需要増加期には、又は近年見ることの出來なかつた好況を現出するであらうと觀測されてゐる。

## 鹽屋の特賣

### 山古及び榮冠の 品質宣傳の爲め

平町土橋山崎合名會社營業部にては、ヤマフル醬油及び銘酒榮冠の品質宣傳の爲め、十日より五日間、毎日午前八時より午後九時迄、特賣會を催し、ヤマフルは一升銀八十錢に、榮冠は同一圓九十錢

三日迄に辛じて全部の田植を終つたが、其後降雨なき爲の水田は龜裂を生じ、苗は殆んど枯死するの狀態なる爲め、九區區長宅に各部落の組長會合一引水に關する善後策を協議した。

### 練習巡查見學

本縣巡查練習所生卅三名に、松本警部補及び河久津部長引卒の許に十二日午後八時十五分、驛着にて來平十三四の兩口に亘り、平町消防栓及び水道配水池、磐城炭礦等を見學する由。

## 平の脱獄囚 坂下を荒す

#### 警察部驚く

去月廿二日朝平刑務所を脱獄した郡山市宇屋敷裏前科五犯山口鷲三郎の行方についてはその後本縣警察部で縣下は勿論全國に手配し引續き警戒の手をゆるめなかつたが去る六日夜河沼郡坂下町に突然現れ、吳服商齋藤安吉方外三ヶ所に忍び入り、衣類其他數點を窃取した。また、もや姿を晦したが、其指紋に

## 玉川衛生施設

### 石城郡玉川村にて

玉川村には、消防組出動九日より三日間に亘り、村内の井戸拂へを爲し、下水溝を掃除する等衛生普及に努めること。

## 石城の荒地

### 復舊を願ふ

石城郡下の人口は最近いじりしく増加し、それに氣候が温和で土肥え海岸は漁業に山間は林業その他農作物の收穫少なからず如何なる山間へき地といへども、人力の加へられぬ處はなきまで、に開拓せられて荒ぶ地はほとんどなく、現今では上小川地内根本川流域三町五反歩、神谷地内夏井川流域約四町五反歩、小川地内粟畠川流域三町三反歩の三ヶ所の荒地を残すのみであるが、同

## 平町人事

### 出生

△白銀町三二 具谷山繁勝氏長女  
△銀治町二六 備前山善俊氏(二)  
△東京市日本橋區本石町 藤立清(二)

### 婚姻

△田町三六 坑夫安田吉太郎氏(四)  
△石川郡小川町 荒川シナ子(四七)

### 死亡

△四軒町二一 當時東京市小石川區音羽町 山田ひで(八三)